

No.68 2017. 1

りいぶる

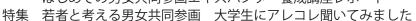


表紙デザイン作者:ひろのみずえさん(イラストレーター、和歌山県在住)



りぃぶる★アイ りぃぶるフェスタ 2016

はじめての男女共同参画エキスパンダー養成講座レポート





りぃぶる★アイ

りぃぶるフェスタ 2016

11月19日、和歌山ビッグホエールにて、「男女でつくる元気な和歌山」啓発ポスター最優秀賞受賞者表彰 式やポスター展示、デートDVについての展示などを行いました。

そして、コラムニストの深澤真紀さんを迎えての講演会を開催しました。



「草食男子」の名付け親、深澤真紀さん講演会

「自分をすり減らさない生き方

~男らしさ、女らしさにとらわれない~」

真紀さん(コラムニスト・淑徳大学客員教授) 深澤

2009 年流行語大賞トップテンを受賞した「草食 男子」という言葉。深澤さんは「恋愛やセックスに がっつかず、家族や友人を大事にして女性と友人関 係がもてる男性」を草食男子と命名したが、いつの 間にか恋愛や消費をしない男性の象徴として、さら には少子化の原因として使われるようになった。し かし、少子化の原因は、草食男子や働く女性の増加 ではなく、経済の低迷から結婚しづらいことや、子 育てにお金をかけられないことにあると指摘されま した。

若者は、消費や恋愛、就職を世間のものさしに合 わせる「見栄」で選ばず、経済性や実用性など現実 を見て選択している。深澤さんは、「草食男子とは、 本来いろいろな生き方を尊重し、自分を大切にでき る若者への褒め言葉なのです」と述べられました。

若者が将来に希望を抱けないのは、周りの大人た ちが素敵ではないからです。まずは周りの大人が好 きな生き方をして楽しそうにすれば、ああなりたい と将来に希望を抱くようになります。また「若者は」 「女性は」とひとくくりにせず「あなたは」と若者 一人一人の多様な生き方を尊重することが大切と話 されました。

最後に、自分らしさを大切にして「自分をすり減 らさない処世術」を紹介。長く働くことを考え、自 分を知り無理をせず、適度に自分をメンテナンスす る、「短所をなくす」よりも、「長所」を知って、そ れをうまく使ってなるべく楽に生きていく、そして 日々を自分のために機嫌よく生きればよいと結ばれ ました。



男女でつくる元気な和歌山 ポスター最優秀賞表彰式 会場では最優秀賞受賞者への知事表彰が行われました。

★最優秀賞受賞作品★



☆小学生低学年の部



落合結菜さん (広川町立津木小学校2年)

☆小学生高学年の部



堂本乃愛さん (和歌山市立木本小学校6年)

田中心那さん (和歌山市立有功中学校1年)

☆中学生の部

ご来場ありがとう **ツざいました!**

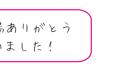
☆高校生の部



髙橋美沙さん (県立和歌山東高等学校2年)











はじめての男女共同参画エキスパンダー養成講座レポート

平成 26 年から、男女共同参画の知識を身につけて様々な分野でリーダーとなる人材(エキスパンダー=拡大させる、発展させる人)を養成する講座を県内で開催してきました。今年も 県内 2 ヶ所で基礎編を行い、講座を通して社会のなかで私たちにできることを考えました。



講師:市場恵子さん 心理カウンセラー 大学非常勤講師

御坊市会場:7月31日・8月20日・9月17日 御坊市中央公民館 新宮市会場:7月30日・8月21日・9月18日 東牟婁振興局

☆男女共同参画キホンのキ "ジェンダー"とは?

ジェンダーとは、「男は男らしく・女は女らしく」などの社会的・文化的に作られた性別のことです。ジェンダーの考え方は「**女のくせに**、**男のくせに**」といった偏見や、「**男は仕事、女は家庭**」といった性別役割分業観を生み出し、今も根強く社会に影響を与えています。女性も男性もジェンダーにとらわれずに「自分らしさ」を軸に考えることが大切です。ジェンダーに敏感な視点をもつ、コレが男女共同参画の**キホン**です!

■世界の男女平等への歩みと日本の男女共同参画の歴史を知ろう!

【世界の主な歩み】

- 1893年 世界で初めて女性が国政選挙の選挙権を獲得した(ニュージーランド)
- 1906年 世界で初めて女性が国政選挙の被選挙権を獲得した(フィンランド)
- 1979年 国連総会「女子差別撤廃条約」採択(日本は 1985 年に批准) 締約国に対し、差別撤廃のための措置を求める多国間条約
- 1993 年 世界人権会議「ウィーン宣言及び行動計画」採択 **『女性に対する暴力は人権侵害である』と決議された** 国連総会「女性に対する暴力の撤廃に関する宣言」採択

【日本の主な歩み】

1946年 日本国憲法

→女性が参政権を獲得

1985 年 男女雇用機会均等法

1999 年 男女共同参画社会基本法 1999 年 児童買春・児童ポルノ禁止法

2000年 ストーカー規制法・児童虐待防止法

2001年 DV 防止法

2013 年 DV 防止法改正 3 回目

→同居する恋人からの暴力も対象 に含まれる

■ DV、労働、介護…社会を男女共同参画的に考えよう!

- ・DV(ドメスティック・バイオレンス)は配偶者間(事実婚、離婚後も含む)の暴力を用いた支配。子どもの前での DV は児童虐待。
- →被害者は悪くないこと、正しい情報を知る・広めることが大切!
- ・デート DV は恋人間で起こる暴力を用いた支配。中高生の被害もある。
- →束縛や支配は愛情表現じゃない、予防教育、尊重し合える関係づくりを!
- ・長時間労働、育児に関われない父親たち、家事・育児との両立が難しい社会状況。
- →ワーク・ライフ・バランスは「労働者の権利」、働き方の見直しが急務! ・父子家庭の急増、母子家庭の貧困、不安定な生活、子どもの教育の格差などの課題。
 - →ひとり親への支援の必要性、親子ともに孤立させない!
- ・増える男性介護者、高齢者虐待は同居家族、特に息子が加害者の割合が高い。
 - →介護と仕事の両立の重要性、地域とつながる、「助けて」と言える社会に!

☆講師からのメッセージ

男女共同参画社会は、性別 にかかわらず人としての 尊厳をもち生きていける 社会の

和たちは、社会からの様々な柳圧や差別に対抗していく知識や思いをもつことが大切です。



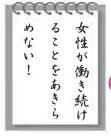
受講生が考えました!

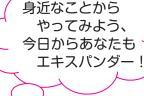
今日からできる! 男女共同参画













■ 来年度は実践編! 一緒に学ぶ仲間を待っています♪

特集 若者と考える男女共同参画

大学生に<mark>アレコレ</mark> 聞いてきました。

男女雇用機会均等法(1985 年)、男女共同参画社会基本法(1999 年)と、男女平等への 歩みを進めてきた日本の

そうした取組が進むなかで生まれ、男女平等の教育を受け成長してきた若者たち。

現在、国は女性活躍を進め、I人目の子どもを産んだ後も仕事を続ける女性の割合が

初めて5割を超えるなど、働きちの流れが変わってきているといえます。

その一方で、女子大生に専業主婦志向が高まるなど気になる傾向もの

社会が転換していく流れのなかで、大学生はどんな風に考え、また自分たちの未来に ついても、どんなことを感じているのでしょう?

今回、和歌山大学経済学部金川世ミの皆さんに当協力いただき座談会を開催しました。 そこから私たち大人ができることについても考えてみたいと思います。



● 取材にご協力いただいた和歌山大学経済学部 3 回生金川ゼミの皆さん ●

(左から)藤井緒以さん、森口このみさん、宮原権がさん、岩倉有咲さん、金子亜理沙さん、中森幸樹さん、小川祐季さん、森田健介さん、ケッキに発生さん

学校生活では、男女の役割に差があるの?

藤井:学校生活ではほとんど男女差を感じませんが、 重い物は男子が持つとか若干あるかも。

宮原:男女の差がないわけではないけど、普段は意識 していないという感じかなあ。

金子: 男女関係なくできる人ができることをしますよ。

外山: サークルの打ち上げなどで料理を取り分けると「女子力高いね」とは言われます。やはり「女子がするもの」と考えられているからかな。

サークルなど組織のリーダーを務めるのは男性?

宮原・岩倉: そう言われると、男性ばかりですね。男性じゃないとだめという雰囲気はあるような。

岩倉:でも、なんで男性が多いのかな? 考えたこと なかったなあ。

宮原:部員数を比べると、女子の方が多いサークルが 目立ちます。多数派の女子の意見ばかり優先さ せないために男子を代表にしているとか?

森田:自分が所属しているサークルは3年連続で女子 が代表です。性別ではなく代表にふ

さわしい人がたまたま女性だったからです。性別では判断しない組織もありますよ。

女子からの告白は迷惑? 女らしくない?

(男子全員) いや、そうは思わないです、嬉しいです。

小川: 自分は、男性からする方がいいと思います。女性 はやはり受け身な部分もあると思っているので。

中森: 自分もそうですね。待っているなら自分から告白した方がいいかなと。

森口: 私は性格的に自分からは言えないので待っている方かなあ。

恋愛では、性別によって役割イメージはある?

外山: デート費用は割り勘でも基本的には男性の方が 多めに払うことが多いかな。記念日とかは特に。

藤井:学生同士なら対等なので割り勘ですね。

岩倉:普段は割り勘でもいいけど特別なときは男性が 払ってほしい。これって男性を立てることにも なるのかな。

家庭的な女性や、尽くす女性は好まれるの?

森田: そんな女性はいまどき珍しいのでは? (男子、共感してうなずく)

藤井:女性が尽くした方が良いとは思わないし、むし ろ男性に尽くしてほしいかも(笑)。

金子:一般的にはまだ家庭的な女性が好まれるかもしれませんが、例えばデートでお弁当を男子が作ってくれたら嬉しいですね。



もし結婚したら、仕事は続ける? もし子どもが生まれたら? そのとき、どんな社会であってほしいと思ってる?

外山:給料の高さよりも、育休取得や短時間勤務など ワークライフバランスのとれる働き方を望んで います。

小川: ワークライフバランスは大事だけれど、実際働くと職場の雰囲気によるかもしれないですね。 個人的には夫が働き妻は家事育児を中心に、というのが理想ですね。

中森:性別で固定的なイメージを持っているわけでは ないですが、家事が全然できないので結婚した ら妻に任せたいです。子どもが小さいときは妻 に家にいてほしいですが成長したら共働きかな。

藤井:ずっとバリバリ働き続けるというより、結婚して子どもが生まれたら働き方をゆるやかにしたい。

森田:自分の父親は夜遅くまで働き、母親も小学生の頃から働き始めました。なので女性は専業主婦が良いとは思いませんが、子どもが安心できる環境が理想です。自分は、日々の生活が安心して送れる、子どもたちの希望が妨げられない社会であってほしいと思っています。

金子:私は結婚するなら育児に積極的な男性がいいです。そして女性が仕事を辞めるか続けるかという二択ではなく、テレワークなど働き方の選択肢が多い社会であってほしいです。

岩倉:私は結婚しても、また育休後もできるだけ正規 雇用で働き続けたいです。今は出産すると仕事 を辞める女性が多く、正規雇用の復職が難しい と聞きます。女性が希望すれば正規雇用で職に 就ける環境が整っていてほしいです。

森口:できれば私は専業主婦になりたい。母の世代の仕事と家事の両立がとても大変な姿を見てきました。 現実には金銭的な事情で共働きになるかもしれないけど、子どもが産まれたら家にいたいです。

宮原:私の親は共働きでした。母は育休後に復帰し、 父や祖父母に手伝ってもらって両立していまし た。私も夫と協力しながら働き続けたいです。

小川: 昔は男性優位の考え方が中心でしたが、生活は 多様化し選ぶ生き方も様々だと思う。選択肢に あった制度や保障が充実していると良いと思い ます。

藤井: これまで男女の格差を経験したことは少ないで すが、女性活躍の流れがこのまま進んでほしい。

> また、実際の社会には、 生きづらさを抱えた人 たちが居ると思います。そうした人たちに 保障や支援が届く社会 であってほしいです。



●座談会を終えて…

普段の生活では男女の格差をほとんど感じないという若者たち。しかし、一旦将来の生活や家族形成について話し始めると、子どもが小さいときに妻には家にいてほしい、夫は仕事を中心に家事育児は妻が担ってほしい、また専業主婦の希望があるなど、どちらかといえば男女ともに働き続けることに消極的ともいえる価値観を持っていると感じました。その背景にあるものは何なのか、また、これから社会に出て行く若者への思いを、指導教員である和歌山大学経済学部准教授、金川めぐみさんにお聞きしました。

彼らの親世代は、男性はがむしゃらに働き、女性はキャリアを取るか専業主婦になるか、または共働きで仕事に加えて家事育児をすべて担って…というハードな時代だったといえます。そうした時代を経て、最近の非正規雇用の増加や貧困などの社会問題の根本には、長時間労働や低賃金、不安定な雇用形態など適正な働き方が困難なことがあります。諸外国と同様、日本でもディーセントワーク※の実現が重要であり、まず、それについて国や企業がもっと認識したうえで、どのようなワークライフバランスの環境を整備するのかを考えることが必要です。今のままでは若者にとっても私たちにとっても生きやすい社会とはいえません。多様化する社会のなかで、自分自身にとって適正な選択ができるための情報を伝えていくことも、大人の責任ではないでしょうか。この先、生きやすい社会をどのように実現していくのか、そのために個人の問題ではなく社会の問題として声をあげていくことが大切です。



待っていても社会は変わらない。自分たちで変えていこう!





講座レポート

男女共同参画公開セミナー in 有田川町

「楽しく生きるためのパートナーシップ~共に依存しない生き方をめざして~」

講師 石蔵 文信さん (医師、大阪樟蔭女子大学健康栄養学部教授)

10月2日(日) きびドーム文化ホール



夫の言動が妻の体調不良を引き起こす「夫源病」を提唱された石蔵さんが、中高年夫婦の定年後のパートナーシップについて様々な視点からお話されました。男性優位の価値観が変えられずに熟年離婚に発展、仕事中心の生活から一転、目標を失いうつ病やアルコール依存に陥りやすく、さらに妻が

倒れるとひとりで介護を抱えてむなどの夫側の問題について指摘。その解決策として、「身の回りのことは自分でする自立」を挙げ、なかでも講師自身が考案した簡単にできる料理レシピを紹介しながら、夫が料理をすることで妻との会話も増え、自立への自信につながると解説。また妻とは別に自分の趣味や社会活動の時間などを作ることを薦められました。

今日からできる!☆夫婦円満術☆

- お互いに言いたいことを言う
- ② 妻の話を聴く
- ③ 妻の名前を呼ぶ
- ④ ありがとう、ごめんなさいを言う
- ⑤ 誕生日、記念日に花束を贈る
- ⑥ たまには外で"待ち合わせを して食事をする



講座・イベント案内

詳しくは、"りぃぶる"HP、県民の友をご覧ください♪



次の公開 セミナーは コレ!

男女共同参画公開セミナー in かつらぎ町 「あなた自身と家族、本当に守れますか? 男女双方の視点で総合防災力アップ」

男女共同参画の視点から、地震、津波など災害が起きたときの対処や、防災・減災について必要な視点や取組を学ぶセミナーです。

日 時:3月5日(日) 13:30~15:00

会場:かつらぎ町保健福祉センター(かつらぎ町大字丁ノ町2148-1)講師: 浅野 幸子さん 「減炎と男女共同参画研修推進センター共同代表、

、早稲田大学「地域と危機管理研究所」招聘研究員、大学非常勤講師」

笑顔になれる!パパの子育て応援講座

夫婦間の子育ての感じ方の違いと乗り越え方を、 わかりやすい言葉と軽快なトークで伝えます。

日時: 1月22日(日) 13:30~15:00

場所:りぃぶる会議室A

講師:渡辺大地さん((株)アイナロハ代表取締役)

「みんなに男女共同参画」提案事業 「セクシュアルマイノリティの 子供たちについて考える講座」

差別のない、多様性が認められる社会を育むには 子どもたちへの教育が不可欠。次代を担う子ども たちのよりよい教育のために大人が学ぶ講座です。

日 時:1月29日(日) 13:30~17:00

会場:りぃぶる会議室A

企画・運営:特定非営利活動法人チーム紀伊水道

語り合い広場 私らしく生きていく ~女性のための離婚講座~

人生の選択の一つとして離婚について 考え、必要な知識や情報を学びます。 日時: 2月23日(木)13:30~15:30

場所:りぃぶる会議室 A

講師:植田香代子さん

(ファイナンシャルプランナー)

「みんなに男女共同参画」提案事業 トークイベント 自分らしい働き方をしよう ~わかやまで暮らし働き続けるためのライフキャリアデサイン~

3名のゲストのお話とテーブルトークを通じて、 自分らしい働き方を考えていきます。

日 時:1月28日(土) 14:00~16:30

場 所:りぃぶる会議室A 企画・運営:ワーク・カフェ



青少年・男女共同参画課インフォメーション

◆男女共同参画推進事業者を登録しました。

(平成 28 年 10 月 1 日現在登録数: 105 事業者)

県では、男女がともに安心して生き生きと働くことができる職場・環境づくりに取り組んでいる事業者の皆さんを 登録し、その活動を応援するため、ホームページなどで広くその取組を紹介します。

登録申請は随時受付けています!!

事業者の皆さんからの応募をお待ちしています。

詳しくは 和歌山県 男女共同参画推進事業者 検索 🗼

事業者名(登録番号)	業 種 (所在地)	取組内容
株式会社駒場工務店 (男女第 101 号)	建設業 (日高川町)	・介護等、個人の事情に応じた勤務形態に対応することで、継続就労を支援 等
株式会社光修建設 (男女第 102 号)	建設業(美浜町)	・資格取得や研修受講の費用を会社が負担することで、スキルアップを支援 等
株式会社オプラス (男女第 103 号)	運送業 (海南市)	・短時間勤務制度を整備し、育児休業からスムーズに復帰できるように支援 等
三井柱族上火火火火 (明本) (男女第104号)	損害保険業 (和歌山市)	・産育休取得者のスムーズな職場復帰を支援するため、「ワーキングママ支援プログラム」を整備 等
株式会社日紀建設 (男女第 105 号)	建設業 (和歌山市)	・有資格者に対する資格手当や、資格取得時に一時金を支給するキャリアアップ制度を整備し、スキルアップを支援 等
川口水産株式会社 (男女第 106 号)	うなぎの加工・販売業 (有田市)	・男女を問わずだれでも活発に意見が言えるよう、業務に関する改善提案制度 を導入し、働きやすい職場環境づくりを推進 等
株式会社朝間商会 (男女第 107 号)	プレカット加工業 (和歌山市)	・朝、昼、夜型を選択できる在宅勤務制度を導入し、結婚や出産後、子育て中 も継続して就労できる職場環境を整備 等
F Mはしもと株式会社 (男女第 108 号)	放送業 (橋本市)	・出社及び退社の時刻を従業員の裁量に委ねる「フリータイム勤務制度」を導入 等
紀州食品株式会社 (男女第 109 号)	食料品加工販売業 (かつらぎ町)	・能力に応じて女性を積極的に管理的立場に登用 等
株式会社ダイケン (男女第 110 号)	建設業(橋本市)	・資格取得や研修受講の費用を会社が負担することで、スキルアップを支援 等
東海上山動火火線株式会社 和歌山立店 (男女第111号)	損害保険業 (和歌山市)	・仕事と育児の両立を支援するため、「育児フルサポート 8 つのパッケージ」として、短時間勤務等の各種制度を整備 等

"りぃぶる" 図書室

☆スタッフおススメ図書☆

女オンチ。女なのに女の掟がわからない



著 者 深澤真紀 出版社 祥伝社

著者自らを「女オンチ」と名乗り、化粧 をしない、足を広げて座る、人の誕生日が 覚えられないなど自身の女子力の無さとオ ンチならではの工夫をつづったコラム集。

生き方が多様化しているにも関わらず、 今もなお「女らしさ」を求められ、疲れる 女性たち。「男性からの評価」ではなく、「自 分が楽しくできること」を選んで生きるの も悪くない。「女オンチ」から日本の女性た ちへのエールが込められている。

おとなになるってどんなこと?



著者 吉本ばなな 出版社 筑摩書房

おとなになるってどんなこと? 友だ ちって何? 普通ってどういうこと? な ど8つの問いに著者自身の子ども時代を振 り返りながら、子どもに向けて、またかつ て子どもだった大人に向けてつづったエッ セイ。「大人になるということは、子どもの 自分をちゃんと抱えながら、大人を生きる こと」だと著者は言う。人生に迷ったとき、 自分を信じる力と癒しを与えてくれる一冊。



ラッキーBOOk (本の福袋) ャンペーン

スタッフが選んだおススメ本と、DVD の福袋をご用意して、皆さまのご来 館をお待ちしています。

新しい出会いがあるかも♪

☆実施期間

1月4日(水)~3月19日(日) 新企画!

ラッキー BOOK 読書会

3月18日(土)10:00~11:30 ラッキー BOOK をご利用された方同 士、お気に入りの本について語り合っ て交流します♪

一時保育つきです!

詳しくは "りぃぶる"まで!



自分を大切にするために…。 "りぃぶる"相談室

相談受付専用ダイヤル 073 (435) 5246

相談料は無料。専門の相談員がお話をおうかがいします。 秘密厳守です。ナンバーディスプレイは使用しておりません。

総合相談

家庭や職場のこと、生き方への不 安など、様々な悩みや相談に女性 相談員が応じます。

電話相談

(受付は20:00まで)

○○○○○ 9:00~17:00 (受付は16:30まで)

面接相談 (予約制・女性のみ)

②

<br

○○○○○● 9:00~16:00 (受付は15:00まで)

女性のためのカウンセリング

女性が抱えるこころの問題に女性 カウンセラーが応じます。

面接相談または電話相談

○○○金○○ 13:00 ~ 15:40 ※第1~第3金曜日

予約制、各日3人まで。相談時間は1人40分。

女性のための法律相談

夫婦、財産相続、金銭問題等、 女性にとって身近な法律上の問題 に女性弁護士が応じます。

面接相談のみ

月4回 13:00~14:50

※日程は"りぃぶる"まで ご確認ください。

予約制、各日3人まで。 相談時間は1人30分。

男性のための電話相談

職場のストレスをはじめ、夫婦・ 家族・人間関係などの様々な問題 に男性相談員が応じます。

○家○○○○ 16:00 ~ 20:00 (受付は19:30まで)

※毎月第2水曜日予約優先(匿名可)相談時間は1人40分程度

性暴力について 相談したい…

性暴力救援センター和歌山

わかやま mine

(和歌山県立医科大学附属病院内)

◆相談受付専用ダイヤル

073 - 444 - 0099

○相談・医療 毎日/9:00~21:30

○緊急医療 毎日/9:00~22:00

こころとからだの回復のために 女性支援員が細やかな支援を行 います。

ひとりで悩まずに相談してください。



☆表紙デザインについて☆

作者のひろのみずえさんは、様々なテーマの本の挿し絵や冊子、パンフレットなどのイラストを描かれています。センターの愛称"りぃぶる"はフランス語で「自由な(libre)」の意味。子どもたちが自由な未来に思いをはせる様子を表現されました。雪の降り積もる冬の夜、暖炉の前でどんな夢を見てるのかな。



◆発行 和歌山県男女共同参画センター

"りぃぶる"

〒 640-8319 和歌山市手平2丁目1-2 県民交流プラザ和歌山ビッグ愛9F

T E L (073) 435-5245

F A X (073) 435-5247

《メールアドレス》libre@sirius.ocn.ne.jp 開館時間 火曜〜土曜:午前9時〜午後9時

日曜:午前9時~午後5時30分

休 館 日 毎週月曜・国民の休日(祝日) 年末年始(12月29日~1月3日)

> りぃぶる 検索 フェイスブックも更新中♪

-企画・編集 特定非営利活動法人 和歌山 e かんぱにい-